

衡衫籠衛衣碟 隅瓦甸衛衣碟
衾敍= 頹厓甌K 純 頹厓甌衾

りじちょう 理事長 おくやま 奥山 はづき 葉月

今年度、当団体は 20 周年を迎え、無事、年度を終えようとしています。紙面をお借りして、皆様のご支援、ご協力に心より感謝を申し上げます。

20 年前は今のように介護保障もない、働く場も機会もない、相談支援機関もない、サービスもない、公共交通にも乗れない、だから地域に暮らす障害者もいないなどと聞いていました。そのような中、障害者が中心となり、介護保障や立川駅エレベーター設置運動などを行ないながら、自らが地域で生きていくために必要なサービス(介助や移送、自立生活プログラム、ピア・カウンセリング、相談など)を微力ながら行なってまいりました。

上記のような地道な活動が実を結び、今では、駅にはエレベーターがつき、車いす利用者だけでなく、高齢者、ベビーカーを押したお母さん、大きな荷物を運ぶ業者の方など多くの方が、エレベーターを当たり前に利用しています。地域で暮らす障害者の介助の必要性もご理解いただけるようになり、介助を利用して地域で暮らす障害者も 20 年前とは比べものにならないほどです。また、立川市から地域生活支援事業、相談支援、就労支援、地域活動支援センター型の委託をいただき、当センターの会員のみならず、広く市民に向けた相談支援を行なわせていただいている。

20 年を経て、社会も変わり、運動中心であった当団体も今では、委託事業がほとんどという事業所に変化してきました。しかし、残念なことに差別、虐待、めまぐるしく変わる不安定な制度、介助者不足、被災された障害者への支援…手付かずなことや、課題が山積みです。「自立生活センターが社会から必要とされないくらい社会が変化したら、お役ごめんだね」と笑っておっしゃっていた障害者の大先輩がいらっしゃいましたが、まだまだお役ごめんにはなりそうにありません。



鑿 潟 激
妄 奢 绂 畴 社 疾 畏 痘 纓 杷 * 蓠 + 蔵 蕪 卷 疱 什 隅 疱 疡 痘 纓 環

へいせい ねんど たちかわししようがいしゃしうかん ほうこく
ゼムキラソビ 蘊ばわ杣 * 蓠 放 杆 畏 痘 纓

たちかわし こんねんど しょうがいしゃしうかん がつはつか にち がつ にち さだめ とあかかん
立川市では今年度の障害者週間を11月20日(日)~11月29日(日)と定め、10日間のイベ
ントを開催しました。今年度は新たな試みとして、市内の障害福祉関係団体が集い実行委員会を立ち上げ、
委員会が中心となって企画を進めました。主な企画内容のご報告をさせて頂きます。

* 映画会「ぼくはうみがみたくなりました」

じょせいそうごう じまく おんせい えいが じょうえい
女性総合センター・アイムにて、字幕・音声ガイド付きのバリアフリー映画を上映。



* 日替わり福祉機器展示

アイパッド しょうがい ひと つか たいけんかい
ipad...障害のある人が使いやすいアプリの体験会

サウンドハンター…

しかく しょうがい ひと うんどう たの
視覚障害のある人がゲームと運動を楽しめるエアロバイク
ホイールチェアピークル…

くるま じょうしゃ こうどう はし しんかんかく
車いすのまま乗車して公道を走れる新感覚ピークル
など きぎょう だいがく きょういん がくせい かた きょうりょく
等、企業や大学の教員・学生の方のご協力により、最新の福祉機器・情報機器を展示。

* 障害のある人の防災に関する展示

とうほくかんとうだいしんさいしようがいしゃきゅうえんほんぶ かせききんなど きょうりょく
東北関東大震災障害者救援本部・ゆめ風基金等にご協力いただき、被災地の障害者の状況を
うつしたパネルや防災グッズの展示、立川市の災害時要援護者登録申請の呼びかけ等。

イベント全体を通して742名の方にご来場頂きました。来年度以降も、障害のある人・ない人が情報
を共有できたり、交流を深められる場にしていきたいと思います

じりつしえんきょううきい せいかつせんもんぶかい ほうこく
蔣蘊疹什に挂Y 坎卷⑤朴断Y

ふくし たちかわし じりつしえんきょううきい せいかつせんもんぶかいちょう
福祉ホットラインでは立川市自立支援協議会に生活専門部会長として関わらせていただき、関係機関・
団体の皆さんとともに地域での支援体制づくりを進めています。

がつ にち せいしんしょうがい ひと む はけん かくじゅう めざ
1月31日には精神障害のある人に向けたヘルパー派遣サービスの拡充を目指して、立川市障害
福祉課との共催でヘルパー講習会を開催しました。

ちばけんいいちかわし きょよくくかいご ほうちもんかいごじぎょうじょ
千葉県市川市にある居宅介護・訪問介護事業所「ほっとハートケアサービス」のサービス管理責任者で
ある遠藤栄乃さんをお招きし、精神障害のある人へのヘルパー派遣について、利用者さんとの付き合い方
や事業所としての心がまえ等について、実践を踏まえたお話しをして頂きました。

こない はけんじぎょうじょ しょくいん かた たいしょう けんしゅうかい
今回は派遣事業所の職員の方を対象とした研修会でしたが、参加された方からは「今後の派遣の参考に
なった」といった感想を頂きました。今後も、障害のある方がよりよい地域生活を送れることを目指し、
自立支援協議会としても活動してきたいと考えています。

(つるその まこと
鶴園 誠)

十 坪巻疹付 σ Η χ Γ β ḥ ḥ ŷ β

かぞくこんだんかいほうこく □配m投y ■

11月19日パーティオでは、ご家族との交流の場として、家族懇談会を開催いたしました。当日は、足元も悪く、とても寒い日だったので、8名の方にご参加いただきました。

ご家族の立場というのは、身近な存在ゆえに葛藤が多く、病気を抱えるご本人とともに悩んでいらっしゃると思います。懇談会は、日々の思いや迷いなど、普段ではなかなか話せないことや、初めてお会いするご家族との交流を持つ良い機会になったと思います。

第1回の家族懇談会では、三船クリニック院長の三船英男先生を講師にお招きし、病院勤務時代に経験された貴重なお話などを聞かせていただきました。

病気の症状である幻聴や妄想など病気の内容も、人との関わりに関係していることがあり、孤独に一人で抱えるのではなく、友人関係や家族関係や病院や福祉のつながりも含め、自分の気持ちや思いを話せることが大切であることなど、改めて社会に繋がることや人との関わりを考える機会となりました。

ただ、ご家族という立場では感情的になり、どうしても注意や指摘が多くなります。一緒に生活をして、毎日顔を合わせていると、良いところよりも気になる点に注意がいきがちですが、時には良かったことは褒めることも大切であることなど、日々の生活を振り返る時間となった印象です。褒めることについては、ご家族の多くが「出来てないかなあ」と感想を話されていました。

そういうところでは、病院の主治医やパーティオなどの相談機関、福祉施設がお役に立てると思います。ご家族だけで、沢山の役割を担うのは、とても大変なことだと思います。困ったことや、ちょっとした相談事でも是非お気軽に、パーティオを含めた医療や福祉サービスをご利用頂きたいと思います。

ご家族の存在というのは、ご本人にとってとても大きな支えであり、ご家族がお元気でいることが、病気を抱えるご本人の力にもなって行きます。

パーティオでは、この交流会のような機会を、来年度以降も定期的に行なってゆきたいと考えています。ご家族様からのご希望やご要望などございましたら、お気軽にご連絡下さい。よろしくお願ひいたします。

ほうこく 广歯袴痘疣 ■

土曜日の隔週で行なっている、「マナブとケイコ」プログラムについて、ご報告いたします。このプログラムでは、ちょっとした講座のようなプログラムを行なっています。下半期の初めは、パソコンの講座を行なない平均で7名の方が参加されました。

ひとりでパソコン教室に通うのは心配で、ハードルを感じられる方もいらっしゃると思います。「マナブとケイコ」では、「たちかわパソコン俱楽部」の方を講師にお招きし、パソコンに触れるのが初めての方から、写真加工など詳しい使い方が知りたい方まで、一人ひとりの希望に合わせ講座の時間を行ないました。

ほぼ、マンツーマンでパソコン操作を教えていただき、プログラムに参加された利用者の方も、今まで利用されたことがなかった方も楽しく体験でき、さらに興味を持たれたようです。

来年度も地域の方にご協力いただき、様々な内容で「マナブとケイコ」を行なっていきます。

(久木野 明白香)

激瀉黄瀉済瀉済瀉済瀉済瀉済
→ 痘什断朴

澍瀉潭瀉激瀉済瀉済瀉済瀉済瀉済
漾瀉ぼわ柁＊蘄 → 痘什紹漿

綾瓦甸衛甫
印 眇眩祉瘡痊嬖 C V 袴

さくねん がつ とうきょうと しゅき しうがいしゃこようそくしん きぎょうむ ふきゅううけいはつ
昨年11月に、東京都が主催する障害者雇用促進のための企業向け普及啓発セミナーにパネラーと
してご協力させて頂きました。このセミナーは東京労働局後援でもあり、これから障害者雇用を進め
ようとする企業が多数参加されます。約200名の方が当日お越しになりました。障害者雇用の現状、
支援制度や法規の説明、実際の雇用事例の紹介などを通して、疑問や不安を少しでも解消し、より
積極的に障害者雇用を進めて頂こうという狙いがあります。

こんかい きぎょう こよう ふくししゃくさんか ささ しごと きりだし・ステップアップ・定着支援
今回のテーマは「企業の雇用を福祉支援機関が支えます～仕事の切り出し・ステップアップ・定着支援
～」ということでした。前半は、東京労働局から障害者雇用の現状や雇用施策に関する説明、東京都
保健福祉局が実施する障害者職場実習事業(インターンシップ制度)の活用を紹介したお話がありま
した。後半は、障害者雇用を既に進めている企業とそれをサポートする支援機関、2組による取り組み
の報告がなされました。そのなかで、当センターの利用者を雇用して頂いている企業(中央労働金庫様。
い か るうきんさま とう ほうこく いただ せいいんしょうがいしゃ こよう せきよくとき ちやくしゅ
以下、労金様)と当センターでご報告をさせて頂きました。精神障害者の雇用を積極的に着手された
労金様から、職場環境や受け入れ体制の整備、業務管理等に関しての具体的なお話ししかなされました。
加えて当センターからは、定着支援についてお話しをさせて頂きました。入職後ひとまず落ち着いた
あと、あんていしゃうぎょう いじ ろうきんさま あこ しれん つた しょうがい かた
後、安定就業を維持するために、労金様へ行なってきた支援についてお伝えしました。障害のある方



はあい しゅうしょく いた ひじょう たいへん
の場合、就職に至るまでも非常に大変ですが、その後
あんてい はたら つづ どうよう たいへん
安定して働き続けていくことも同様に大変です。また受
け入れた企業もできれば長く安定して働いてほしいと
かんが あお きぎょう なが あんてい はたら
考えていると思います。企業だけで障害者一人一人の
あんてい こよう ささ きぎょう しうがいしゃひとりひとり
安定した雇用を支えていくのが難しい場合もあります。
ちいき しゅうろうしえん せきよくとき かつよういただ
地域の就労支援センターを積極的にご活用頂くことを、
あんない いただ はな はな はな
ご案内させて頂きました。このセミナーでお話しを聞いて頂いた企業が、実際に障害者雇用に取り組んで頂けることを切に願っております。

綾疽痊祆痊終甄印 紹戮(0)祓

たび たちかわ あこ ちゅうしょくぎょう ほうもん けいはつかつどう とう どうこう
この度、ハローワーク立川が行なう中小企業への訪問による啓発活動に当センターも同行し、ご
きょうりょく いただ しうがいしゃこよう ほうてきい ぎ じよせいせいで こんご しさくてんかい
協力させて頂きました。ハローワークは、障害者雇用の法的意義、助成制度、今後の施策展開につい
て説明されました。こちらからは、障害者が実際どのような仕事についているか、どういった配慮があ
はたら しゃうろうしえん かつようほうなど つた ほうもん きぎょう こようけいけん ほんとん
れば働くか、就労支援センターの活用方法等をお伝えしました。訪問した企業からは、雇用経験が殆
どないという不安の声や、不況により経営悪化に関する厳しいお話しを頂きました。

どの企業も障害者雇用の必要性についてはある程度ご理解されていましたが、積極的に検討して頂
ける話にはなかなか至りませんでした。企業からは雇用に際しての不安や疑問が多く聞かれました。
こうした地道な訪問活動により丁寧に対応していくことが重要と感じました。地域の就労支援センタ
ーとして、今後もハローワークと連携した取組みが続けられるとよいと思います。

(井上 貴央)

しょくばほうもん 疊 痣 社 にほん かぶしきがいしゃ まき
魏■ 豊(0)癪神衣癧祫 依健番祫瘞(七)y 奢壩れ



今回の訪問先は立川市内にある日本ステリ株式会社立川センターです。ここでは諸井由佳子さんが働いています。諸井さんは高校を卒業後、縫製関係の会社、クリーニング工場などで長年働いてきました。しかし体調を崩し3年前に退職。当時の諸井さんは体調も不安定で、昼夜逆転の生活をしていました。

まずは生活のリズムを取り戻すために福祉施設(就労移行事業)に通所し、就職に向けた準備を行ないました。生活のリズムも安定し、もう一度働く自信もついてきたの

で昨年5月に当センターに登録しました。当センターの清掃実習などを経て8月には日本ステリへの就職が決まりました。

日本ステリは病院などで使用する医療器具の滅菌サービスを行なっています。立川センターでは約40名の方が洗浄、組立、包装、滅菌作業に従事しています。諸井さんはその中で唯一の清掃員です。勤務は週5日、午前9時から午後4時まで(実働6時間)、休みは土・日・祝日です。日々のスケジュールに従つて作業場や会議室、トイレ、玄関、窓などの清掃やゴミ回収を行なっています。清掃場所は医療器具を取り扱っているので髪の毛が落ちないようにキャップをかぶり、衛生面に配慮しながら作業しなくてはなりません。特に「クリーンルーム」と呼ばれる滅菌済み器具の保管場所では白衣を着用して作業をすることになっています。当初は、狭く入り組んだ作業場の清掃に苦労しました。人の動きが多く作業の迷惑にならないように「後ろ通ります」「こちらを清掃して良いですか?」と声をかけながらの作業は慣れるまでは大変でした。時には作業中の人とぶつかりそうになることもあります。今では作業場の人の動きに合わせてスムーズに清掃できるようになりました。会社としても諸井さんが孤立しないように適宜声をかけたり、日々の日報に目を通して話を聞いて下さったりしています。

諸井さんが働くようになってから作業場の床やトイレなどが見違えるほどきれいになりました。センター長からは「窓や玄関がいつもきれいでとても助かっている」と評価を頂いています。「作業したところがきれいになっていくのが嬉しい」と話す諸井さんに清掃の仕事はぴったりです。

最近はお昼休みにパートさんとお話ししたり、一緒にご飯を食べたりと会社のみなさんともすっかり打ち解けています。女性が多い職場なのでリラックスできるそうです。仕事を始めて半年、体重も減って体が軽くなり、健康状態も就職する前より良くなりました。

諸井さんには「一人暮らしをする」という夢があります。お給料の中から少しずつ貯金をすることで、自立の夢が現実的になってきました。夢に向かって一歩ずつ頑張っている諸井さんをこれからもしっかり支援していきたいと思います。

(永井 純也)



瓢箪池旬阶畏畔枕 氷室衰雍广痘袂痘疣

瓢箪池旬阶畏畔枕

氷室衰雍广痘袂痘疣

「介助」について、日頃の悩みや思いを障害のある仲間同士で聞きあうプログラムを年間3回行ないました。

第1回(5/13)…「震災当日とその後の介助や生活について」

第2回(11/1)…「介助者とのコミュニケーションについて」

第3回(1/23)…「介助者に伝えるタイミングについて」

各回セッションやロールプレイを用い、参加者みんなでそれぞれのテーマについて

考え、気持ちを伝え合いました。この「介助I-Lプログラム」は障害者の地域生活のしんどさと、その中を生き抜く強さを仲間同士で共有できるとても大切な時間です。来年度も継続していきますので、是非ご参加下さい。

磯甄甜磯纖秆衡環

10月23日 学齢期の子ども達を対象としてI-Lプログラムを行ないました。子ども達だけで参加してもらえるよう移送サービス(PAL)や男女1名ずつの介助スタッフも準備しての気合い入りの企画です！参加者は小学生から高校生まで5名となりました。3台のリフトカーに分かれ、それぞれに参加者のご自宅を回り、武蔵村山市にあるラウンドワンへ。みんなでボーリングを楽しみました。はじめは恥ずかしいようで、素っ気ない態度の子もいましたが、時間がたつにつれ打解かれ、同じ障害がある同世代の仲間と一緒に楽しく過ごせました。ご自宅にお送りした際、ご家族にあった瞬間、楽しそうにボーリングのお話しをして、「また、やる？」と言ってくれたことがとってもうれしかったです。来年度も「いっぱい遊ぼう」ね

終疹番疣番疊痘粉狀疣 紹詠詠詠

去る12月15日(木)柴崎学習館講堂にて、毎年恒例となっているクリスマスパーティーを開催しました。CIL立川に関わりのある皆さんに楽しんでもらう場として、62名の方に来ていただき、職員も含めると約80名の大規模なパーティーとなりました。

始まりのあいさつから皆さんで乾杯。仲間同士で歓談と食事をする楽しいひととき。そして、地元立川に開するチーム対抗クイズ大会を行ない、会場は皆さんの歓声で沸きました。

その後、今回初めてご協力をいただいた「ヒルフラット吹奏楽団」による、本格的なクリスマス曲や歌謡曲の演奏に皆さん大盛り上がり！リズムに乗って、歌ったり踊ったり楽しんでいただきました。

クリスマスパーティーの最後には、みんなを盛り上げてくれた方への表彰とプレゼント授与を行ない、あっという間に終わりの挨拶となりました。

震災や原発の事故など、大変なことがあった2011年でしたが、次回もまた、みんなの元気な顔を見られることを楽しみ



(大石 幸治・鈴木 徳子)



じたく おくり さい かぞく ふるその まこと おくやま はづき
(鶴園 誠・奥山 葉月)



にしてあります。

(大石 幸治)

磯 碁 潤 豊 漢 游
報 紙 緑 燐 爆 炎 烟

自立生活センター・立川では、内山綾子さんと泉口哲男さんにご協力頂き、同じ知的障害のある仲間に向けた、生活に役立つ情報の提供や、プログラムの実施などの活動を行なっています。

嘗瓢画衛町庭畠甌碟界XII蝶璫甘补庭畠甌碟界角祫衛食戻
2011年10月1日実施 参加人数：5名

「一人暮らしをしたい」と思っていても、「お金のことはどうしよう」「食事のことはどうしよう」など、不安を持っている人はたくさんいます。内山さんもその一人です。そこで、一人暮らしをしている先輩に話を聞く機会を作り、不安を解消してもらうためのプログラムを企画しました。また、生活の参考にしてもらうため、一人でできる簡単な食事作りも一緒に行ないました。

前半は料理をし、後半は、一人暮らしをしている方のお宅を取材させて頂いた時のビデオを観ながら、「ヘルパーさんをどうやってつかっていいのか」「一人暮らしで困っていることは何か」など、参加者の方の質問に答えてもらいました。また、障害年金についての簡単な勉強会も行ないました。

参加者の方からは「一人暮らしの話しがいろいろ聞いてよかったです。ヘルパーさんを使ってみたい。」「年金でお金がたくさんもらっていることに驚いた。」「一人暮らしをしてみたくなった。」などの感想を頂きました。今後も、「自立」を目指す方のニーズに応えるため、また、仲間同士で情報を共有する場を提供するために、このようなプログラムを企画、実施していきたいと思います。

メニュー		
・ 揚げずに作る天ぷら・かき揚げ	つく	てん
・ そば	あさづ	
・ キャベツの浅漬け		めい



渋谷駅周辺

街で不思議に思うことや気になること、分からぬことを出発点に“うっちい散歩”と名付け、その疑問点などを調べ、記事にして配布しています。

立川市障害者週間編

2011年11月25日実施



手動と電動2種類の車椅子に乗ったり、トーキングエイドを操作して作った文章を読み上げたり、被災地のビデオを観たり、いろいろな経験ができた。自分は今は身体が不自由じゃないけど、いつかは車椅子に乗るようになるかもしれない。だから今体験ができてよかったです。

内山さん感想 うっちい散歩記事～立川市障害者週間編～より抜粋

江戸東京たてもの園編

2011年12月2日実施

『千と千尋の神隠し』のモデルになったお風呂屋さんや、文房具屋さんがいた。お風呂屋さんは、お湯には浸かれなかつたけど、男湯・女湯の両方を見学できた。文房具屋さんには隠し扉があつて、中いるおばさんが解説をしてくれた。たてもの園にある家は古いけど、普通に住めそうだった。



好澍碑並～尋 環0/1燠1/31蝶

()は担当部門名 C I L · H L · 就労 · パテ

【イベント・行事の実施】

(C I L)

- ・出前講座(立川高校,西砂小,七小,
松中小,若葉小,六小,三小)
- ・ランチタイム(10/18,11/30,12/13,1/24)
- ・フィールドトリップ「水上の風を感じよう！」(10/7)
- ・学齢期間プログラム「いっぱい遊ぼう」(10/23)
- ・クリスマス会(12/15)
- ・総合福祉法學習会(12/16)
- ・内部研修(1/13)

(H L)

- ・平成23年度立川市障害者週間(11/20-27)

(パティオ)

- ・家族懇談会(11/19)
- ・年越しそば会(12/30)
- ・お雑煮会(1/2)

【連絡会・委員会・連携業務】

(C I L)

- ・立川市災害ボランティアネットワーク(10/4,12/6)
- ・自転車クリーンキャンペーン(10/25)
- ・自治会連合会(10/28)
- ・障害のある人もない人も暮らしやすい立川市を考える会(10/21,11/15,11/21,12/13,1/10)
- ・障害のある人もない人も暮らしやすい立川市を考える会
地区別懇談会(12/14)

・立川市地域福祉計画推進委員会(11/9)

・多摩療護園わびすぱーつ(11/17,12/15,12/21,1/19)

・立川市社会福祉協議会苦情解決第三者委員(11/21)

・人権擁護委員会(12/10,1/17)

(H L)

・立川市自立支援協議会生活専門部会研修会(10/3)

・立川市自立支援協議会全体会(10/13)

・立川市障害者週間実行委員会(10/25,12/14,1/18)

・立川市自立支援協議会ヘルパースキルアップ講習会(1/31)

(就労)

・立川市自立支援協議会全体会(10/13)

・多摩就労支援事業委託団体連絡会(10/21,12/16)

(パティオ)

・立川市精神保健業務連絡会(10/18,11/15,12/20,1/17)

・立川市自立支援協議会精神専門部会

(10/24,11/11,12/16,1/27)

・障害者週間実行委員会(10/25,12/14,1/18)

・立川市地域活動支援センター連絡協議会(10/28,12/16,1/27)

・たちせいれん(10/28)

・立川市退院支援会議(11/10,1/12)

・障害者施設支援連絡会(1/26)

- ・北多摩西部保健医療圏地域精神保健福祉連絡協議会
(1/30)
- ・りらく定例会(10/20, 11/17, 12/15, 1/19)
- ・りらく交流会(10/26)

【外部への見学・研修・イベント】

(C I L)

- ・給水訓練(10/4)
- ・総合福祉法學習会(10/5.6)
- ・JDF大フォーラム(10/17, 10/28)
- ・東京都相談支援従事者現任研修(10/17.27.28, 11/22)
- ・交通行動(11/2)
- ・CIL日野研修見学(11/11)
- ・立川市肢体不自由児・者父母の会たつのこ定例会(11/14)
- ・CIL昭島學習会(11/15, 12/13)
- ・CIL東大和10周年記念式典(11/23)
- ・立川市議会構成産業委員会傍聴と請願(12/12)
- ・HAT内部研修会(12/21)
- ・東北関東大震災障害者救援本部災害ボランティア(1/19-21)
- ・柴崎町防災訓練(1/28)

(就労)

- ・立川市自立支援協議会精神部会(11/11)
- ・八王子ふらん研修(12/12)

(パティオ)

- ・東京都相談支援従事者現任研修(10/17.27.28, 11/22)
- ・東京都相談支援従事者初任者研修(1/30)

【外部からの見学・研修・イベント】

(C I L)

- ・韓国国家人権委員会見学(12/27)

【講師派遣】

(C I L)

- ・民生委員障がい福祉部会(11/18)
- ・立川市柴崎學習館バリアフリー研修(11/22)
- ・チャレンジド富士(1/10)
- ・JIL全国セミナー(1/23-25)

(就労)

- ・東京都主催企業向け普及啓発セミナー(11/29)

ご寄付等、ありがとうございました

- | | |
|---------|--------------|
| ・武本 寛 様 | ・井上 芳子 様 |
| ・金 泰俊 様 | ・三船 英男 様 |
| ・齋藤 尋 様 | ・匿名 1名 (順不同) |

特定非営利活動法人 自立生活センター・立川
〒190-0023 東京都立川市柴崎町 2-10-16 オオノ
ビル2F

TEL : 042-525-0879 FAX : 042-521-3